

平成 29 年 2 月 17 日

各 位

会 社 名 : 日本エンタープライズ株式会社
 代 表 者 名 : 代表取締役社長 植田 勝典
 (コード番号 4829 東証第一部)
 問合せ先責任者 : 常務取締役 田中 勝
 T E L : 03-5774-5730

【株式会社社会津ラボ】 IoTにおける「モノ」と「ヒト」のコミュニケーションツール、 「モノ」の感情を可視化する『mononome』を開発！ ～「InduSTORY～私たちの時代のモノづくり展～」へ出展～

日本エンタープライズ株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:植田勝典)の子会社、株式会社社会津ラボ(本社:福島県会津若松市、代表取締役社長:久田雅之、以下会津ラボ)は、IoT^(※1)における「モノ」と「ヒト」のコミュニケーションツール、『mononome(もののめ)』の「冷蔵庫～HEMS連動版」・「薬箱～服用サポート版」をそれぞれ開発し、平成29年2月9日から平成29年5月7日までの期間、企画展「InduSTORY～私たちの時代のモノづくり展～」へ出展いたします。

『mononome(もののめ)』は、プロジェクトユニット「neurowear(ニューロウェア)」が平成26年に発表した、「モノ」の動きを検知するセンサーに表情豊かな「目」を付けて、「モノ」の感情を可視化するコンセプトです。家具や家電などに取り付けられた『mononome(もののめ)』は、センサーの検知結果を「モノ」の感情として捉え、喜怒哀楽の豊かな表情で表現します。

今般、会津ラボと「neurowear」とのコラボレーションにより、『mononome(もののめ)』、「冷蔵庫～HEMS連動版」・「薬箱～服用サポート版」の、「InduSTORY～私たちの時代のモノづくり展～」への出展が実現いたしました。

イベント会場では、(1)冷蔵庫に取り付けた『mononome(もののめ)』が、電気使用量や扉の開閉に応じて喜怒哀楽の感情を示す (2)薬箱に取り付けた『mononome(もののめ)』が、予め登録した服薬時間に薬が取り出されると笑顔になり、忘れていると泣きだし、やがて怒りだすデモンストレーションを行い、日常生活の中での『mononome(もののめ)』の活用事例を紹介します。

【「InduSTORY～私たちの時代のモノづくり展～」】

展 示 内 容	東京大学・山中俊治研究室による未来の人工物のありかたの研究結果ならびに、プロジェクトユニット「neurowear(ニューロウェア)」が探求するIoT技術を活用したモノと人の新しいコミュニケーション・デバイスを展示	 <p>冷蔵庫・薬箱と『mononome(もののめ)』</p>
期 間	平成29年2月9日から平成29年5月7日 ※2月19日は休館	
開 館 時 間	10:00～21:00	
会 場	グランフロント大阪北館・ナレッジキャピタル 「The Labみんなで世界一研究所」2階・3階	
入 場 料	無料	
主 催	一般社団法人ナレッジキャピタル (http://kc-ijp/)	

本件に関するお問い合わせ

■報道関係者の方 日本エンタープライズ株式会社 管理本部 広報・IRグループ【担当:松本、渡辺】

TEL:03-5774-5730 FAX:03-5774-5735 MAIL: ir@nihon-e.co.jp

■サービスに関するお問い合わせ 株式会社社会津ラボ【担当:久田】

TEL:0242-23-8285 FAX:0242-23-8286 MAIL: info@aizulab.com

<http://www.nihon-e.co.jp/>

(※1) IoT: Internet of Things(モノのインターネット) さまざまな「モノ」がインターネットに接続されることで新たな価値をうみだす仕組み

※『mononome』は、株式会社電通の登録商標です。記載されている会社名及び商品名/サービス名は、各社の商標または登録商標です。

平成 29 年 2 月 17 日

各位

会社名：株式会社会津ラボ
代表者名：代表取締役社長 久田 雅之
TEL：0242-23-8285

IoTにおける「モノ」と「ヒト」のコミュニケーションツール、 「モノ」の感情を可視化する『mononome』を開発！ ～「InduSTORY～私たちの時代のモノづくり展～」へ出展～

株式会社会津ラボ(本社:福島県会津若松市、代表取締役社長:久田雅之、以下会津ラボ)は、IoT^(※1)における「モノ」と「ヒト」のコミュニケーションツール、『mononome(もののめ)』の「冷蔵庫～HEMS連動版」・「薬箱～服用サポート版」をそれぞれ開発し、平成29年2月9日から平成29年5月7日までの期間、企画展「InduSTORY～私たちの時代のモノづくり展～」へ出展いたします。

『mononome(もののめ)』は、プロジェクトユニット「neurowear(ニューロウェア)」が平成26年に発表した、「モノ」の動きを検知するセンサーに表情豊かな「目」を付けて、「モノ」の感情を可視化するコンセプトです。家具や家電などに取り付けられた『mononome(もののめ)』は、センサーの検知結果を「モノ」の感情として捉え、喜怒哀楽の豊かな表情で表現します。

今般、会津ラボと「neurowear」とのコラボレーションにより、『mononome(もののめ)』、「冷蔵庫～HEMS連動版」・「薬箱～服用サポート版」の、「InduSTORY～私たちの時代のモノづくり展～」への出展が実現いたしました。

イベント会場では、(1)冷蔵庫に取り付けた『mononome(もののめ)』が、電気使用量や扉の開閉に応じて喜怒哀楽の感情を示す (2)薬箱に取り付けた『mononome(もののめ)』が、予め登録した服薬時間に薬が取り出されると笑顔になり、忘れていると泣きだし、やがて怒りだすデモンストレーションを行い、日常生活の中での『mononome(もののめ)』の活用事例を紹介します。



×



© Photo by Shinsuke Yasui

無生物であるモノが動くとき、それは人と関わっているとき。モノの感情を可視化するために、動きを検知するセンサーに表情豊かな「目」をつけました。『mononome(もののめ)』は、モノと人の為のコミュニケーションツール。食べ過ぎると叱ってくれるお菓子入れ、掃除をしないと寂しがる掃除機、時間通りに取り出すと喜ぶ薬箱など、家具や家電に貼り付けることでモノとのコミュニケーションを実現します。表情をもったモノと生活し、その関係を記録することでモノは人の家族や友人に近い存在になっていきます。

<http://www.aizulab.com/>

(※1) IoT: Internet of Things(モノのインターネット) さまざまな「モノ」がインターネットに接続されることで新たな価値をうみだす仕組み

※ 『mononome』は、株式会社電通の登録商標です。記載されている会社名及び商品名/サービス名は、各社の商標または登録商標です。

『mononome (もののめ)』展示概要

【「InduSTORY～私たちの時代のモノづくり展～」】

展 示 内 容 :	東京大学・山中俊治研究室による未来の人工物のありかたの研究成果ならびに、プロジェクトユニット「neurowear(ニューロウェア)」が探求するIoT技術を活用したモノと人の新しいコミュニケーション・デバイスを展示
期 間 :	平成29年2月9日から平成29年5月7日 ※2月19日は休館
開 館 時 間 :	10:00～21:00
会 場 :	グランフロント大阪北館・ナレッジキャピタル・「The Labみんなで世界一研究所」2階・3階
入 場 料 :	無料
主 催 :	一般社団法人ナレッジキャピタル (http://kc-ijp/)



冷蔵庫・薬箱と『mononome(もののめ)』



コンセントと連携して、電力使用量を測定



泣きだす『mononome(もののめ)』

株式会社社会津ラボ

コンピュータ理工学を専門とする国際色豊かな公立大学法人「会津大学」(平成5年4月開学)の第1期生が、平成19年1月に設立。平成24年4月に商号を株式会社社会津ラボへ改めました。会津ラボは、「会津大学」の大学発ベンチャー企業として公式認定を受けています。「会津大学」建学の理念“to advance knowledge for humanity”を掲げ、人類の為になる高度な知識と技術を世の中へ創出してまいります。

(1) 名 称	株式会社社会津ラボ
(2) 所 在 地	福島県会津若松市インター西53 2F
(3) 代 表 者	代表取締役社長 久田雅之
(4) 事 業 内 容	iOS/Android 対応アプリケーションの開発/研究開発 ホームページ制作/3DCG 作成/映像加工/イラスト作成/各種デザイン
(5) 資 本 金	2,950 万円
(6) 設 立 年 月 日	平成19年1月4日
(7) U R L	http://www.aizulab.com/

本件に関するお問い合わせ

株式会社社会津ラボ 【担当:久田】 TEL:0242-23-8285 FAX:0242-23-8286 MAIL:info@aizulab.com

<http://www.aizulab.com/>

※ 『mononome』は、株式会社電通の登録商標です。記載されている会社名及び商品名/サービス名は、各社の商標または登録商標です。